

# 組織を支える17の視点 〔自己診断シート 集計結果表〕

Sample

作成日	2021年7月1日
-----	-----------

自己診断シート「17の視点」は、マネジメントの視点から組織の状況・状態を客観的に把握できるよう構成しています。組織の状況は、各設問に対する活動に関わる人たちの意識・認識の高さを記入者を3つのグループ（グループ分けはP1参照）に分けて集計しています。診断結果は、係数を使った集計点数をグラフにすることで客観的な把握ができるようにしています。

組織の活動は、関わる人たちの協力による成果が、次への頑張りにつながります。そのためには、各項目（「17の視点」設問項目）に対する意識・認識の共有が欠かせません。本自己診断では、注目すべき項目を「17の視点」としてまとめ、意識・認識の共有に活用できるよう作成しました。

**各設問の点数の高低ではなく、全体バランスの観点でご活用ください。**

<組織を支える17の視点 集計結果表20210701>

制作 : 認定特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構  
〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢577番地寿ビル301号室 TEL: : 0466-53-7366  
URL : <http://f-npon.jp/> Email : [f-npoc@shonanfujisawa.com](mailto:f-npoc@shonanfujisawa.com)

..... 構 成 .....

I レーダーチャートによる意識のバランス

組織の活動は、「組織目的のために取組んでいる活動」と「組織の管理体制を整える活動」に大別で きます。両者を以下の3つの視点、5つの項目に分け、意識・認識のバランスの現状を診断分析して います。

●組織の目的のために取組んでいる活動

(1) ミッション：今の活動・取組みの方向を決める団体の想い、組織の目的、目指す組織の姿の視点

- ① 設立時の想い、組織の将来                      ② 今の活動・取組み

※今の活動は、設立時の想いから将来イメージ（ビジョン）に向かう活動になります。

(2) 組織の資源：今の活動・取組みを支える組織の活動基盤(人材、資金、事業、情報)の視点

- ③ 人材・資金    ④ 今の活動・取組み（事業、情報）

※今の活動は、今の資源の活用によるものなので資源の強化は常に求められます。

●組織の管理体制を整える活動

(3) ガバナンス：組織活動における基本的な管理体制の視点

- ④ 記録、計画、報告                                  ⑤ ルール、管理

II 診断集計(点数)、回答の分散による設問別分析

・集計結果の設問別点数、回答の分散を総体的に整理しています。

III 設問別に見た集計結果

・設問ごとの集計詳細とともに、グループ間の意識・認識の高さをグラフにしています。

IV 集計結果の読取

・問題点を探すための方針が把握できるよう、設問別・設問間の関連性から整理しています。

..... グループの作り方 .....

回答者数	10人		
グループの作り方	活動への関わり方（役職など）		
Aグループの基準	代表など活動のコアメンバー		3
	記入者数	3	
Bグループの基準	理事など		2
	記入者数	2	
Cグループの基準	A・Bのグループに属さない人たち		5
	記入者数	5	

＜参考＞  
 本自己診断では、「組織への関わり方」による分類で回答者グループを作成しています。回答者グループの作成の一例として、  
 ・事業別の分類  
 ・有償で関わっている人、無償で関わっている人による分類  
 ・年齢別や団体に関わる経験年数の違いによる分類などが考えられます。  
 回答者グループ別の集計結果は、組織全体からでは見えない意識・認識の違いの確認になります。自己診断の効果を高めるための工夫としてご活用ください。

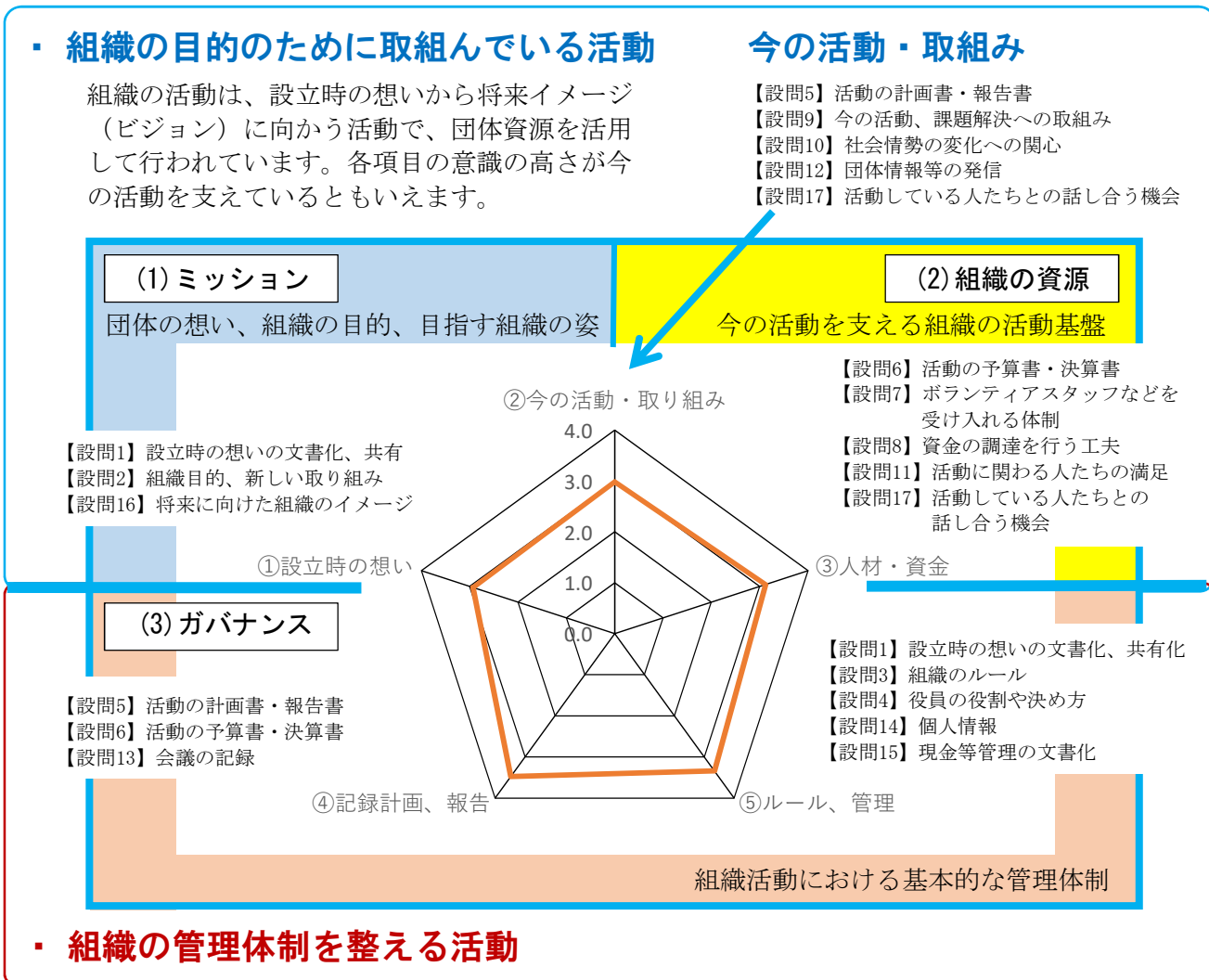
# I レーダーチャートによる意識のバランス

※各レーダーチャートは、診断集計（点数）値で作成しています。

（各設問の値は8頁を参照してください）

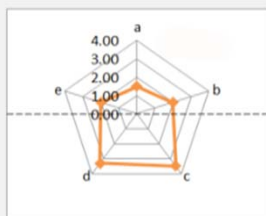
## I-1 マネジメントの3つの視点、5つの項目から見た時の回答のバランス

※下図レーダーチャートは、該当する設問の診断集計(点数)平均値で作成しています。



<ポイント> レーダーチャートの図形の上下位置のバランスについて

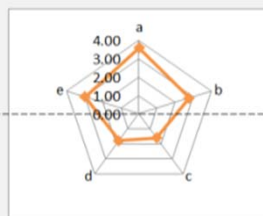
<例1>  
【下への偏り】



下部は、組織として、ちゃんとやらなくてはならない活動（ガバナンス）で、組織管理の堅実性・安定性、団体の信頼性につながる意識の高さになります。

「組織の目的のために取組んでいる活動」を支える組織基盤になるので、極端に下部に偏ると組織の維持のための団体活動になってしまいます。

<例2>  
【上への偏り】



上部は、組織の目的のための活動・取組みに対する意識なので、ポイントが高いのは活動の活性化につながる意識が高いともいえます。

しかし、極端な偏りは組織基盤を弱め、せっかくの活動が成果に結びつかなくなることもあるので留意する必要があります。

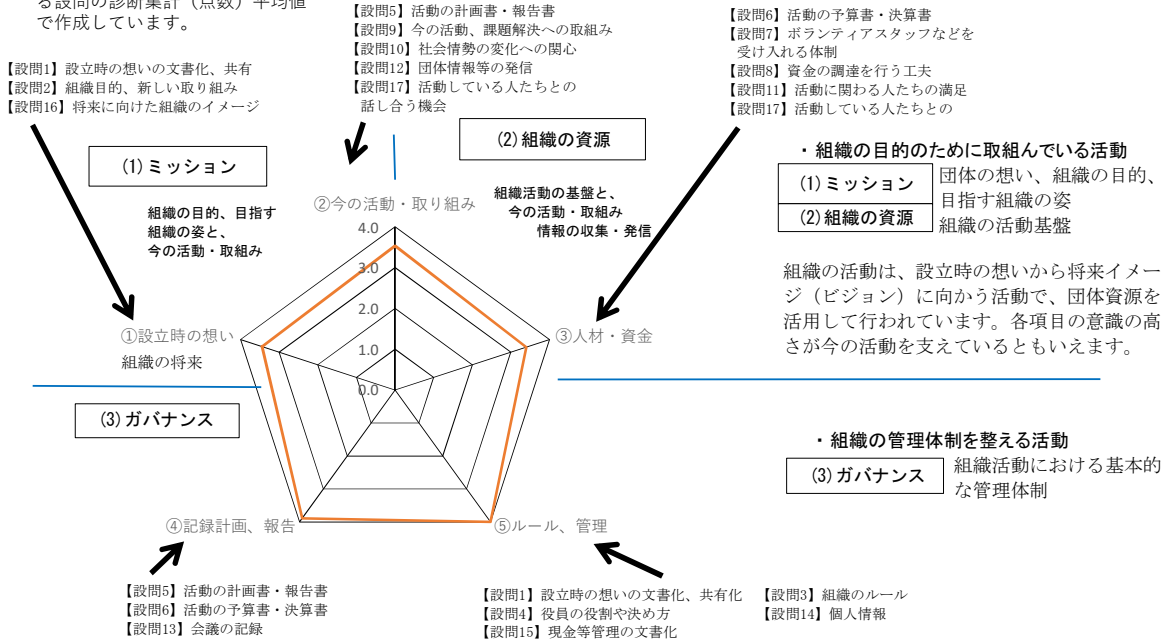
## I-2 マネジメントの3つの視点

### 5つの項目から見た時のグループ別意識のバランス

(異なる視点から見たマネジメント領域に対する意識・認識)

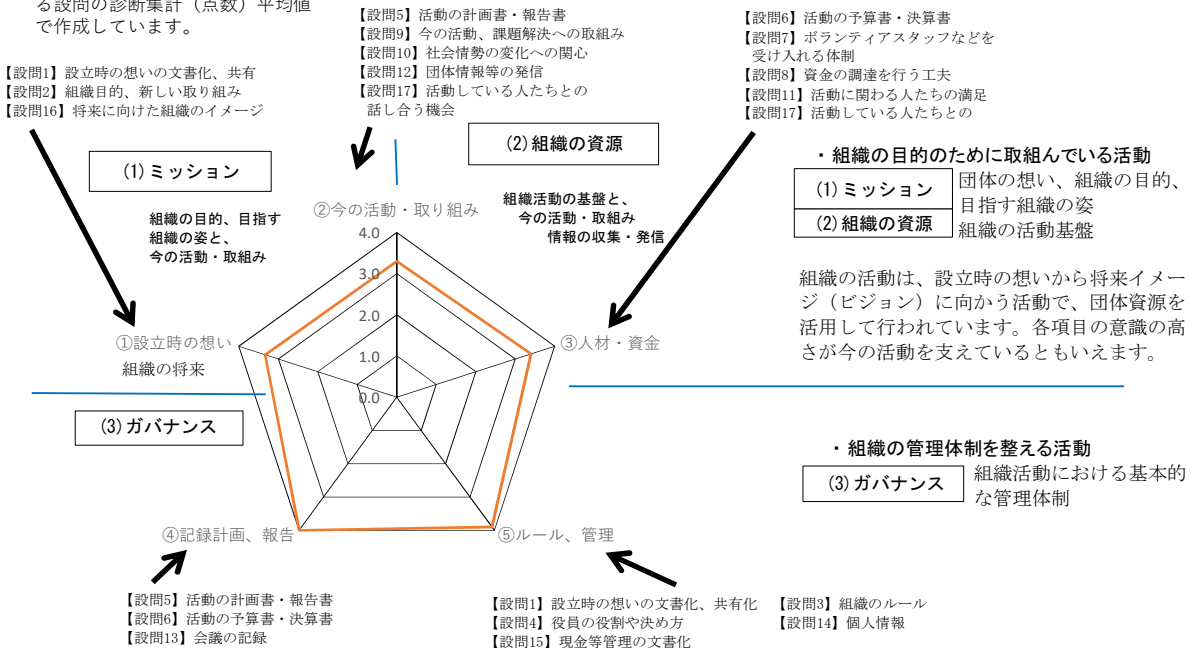
#### グループ A

※下図レーダーチャートは、該当する設問の診断集計(点数)平均値で作成しています。



#### グループ B

※下図レーダーチャートは、該当する設問の診断集計(点数)平均値で作成しています。

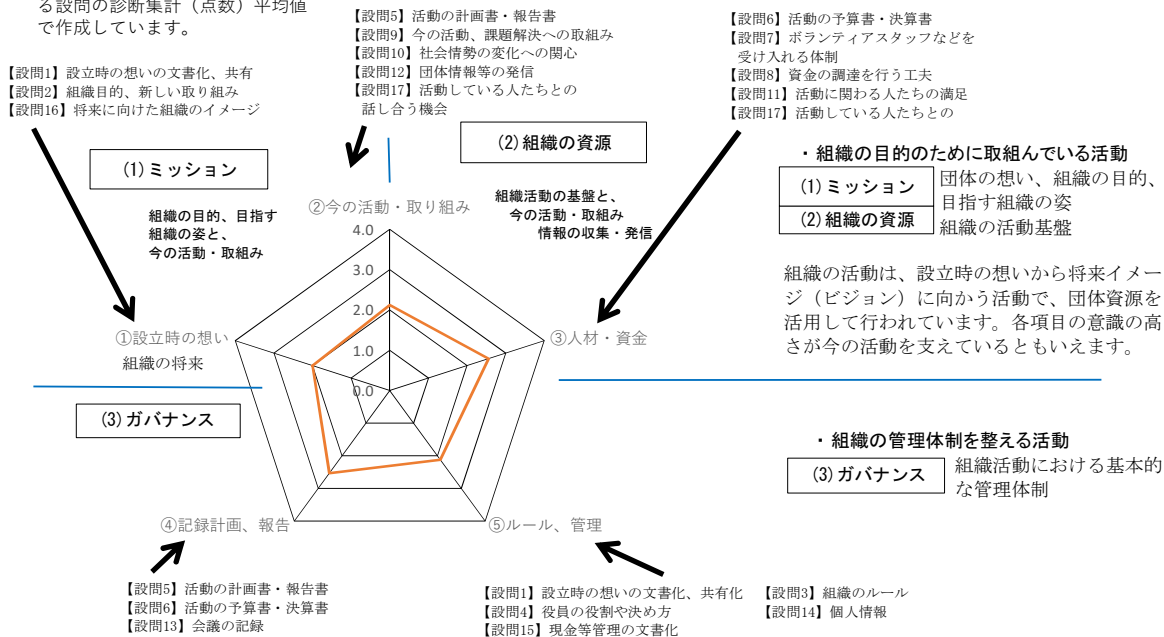


## ●グループ別のレーダーチャートを比較して読み取ること

- (1) グループAとグループCのレーダーチャートの形状は似ているか。
- (2) グループBの形状は、グループA・グループCの形状のどちらに似ているか。

### グループ C

※下図レーダーチャートは、該当する設問の診断集計（点数）平均値で作成しています。



### <ポイント> グループ別のレーダーチャートを比較して読み取れること

- (1) グループAとグループCのレーダーチャートの形状は似ているか。

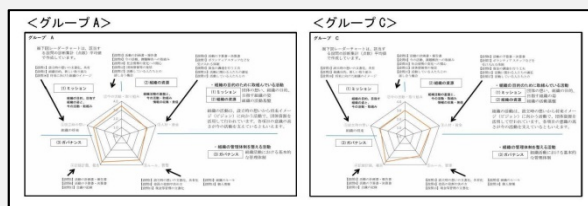
回答者のグループ化は、グループ間の回答の分散から「立ち位置」の違いによる意識・認識の違いを把握するのが目的になります。

グループAとグループCの記入者属性を対峙させグルーピングするのが有効といえます。組織全体の視点に立った組織の現状把握は、客観的な問題点の読取りにつながります。

グループ間の回答の分散は、組織内での役割の違いによる意識・認識の違いの把握になります。協力した活動に成果を期待するためには、組織全体の視点にたった確認・把握が求められます。グループ間の回答が分散する理由は、情報開示、情報共有が組織課題になります。まず、「組織を動かす人（グループA）」の意識・認識の確認をおこなうことをおすすめします。また、組織を動かす人たちの運営への参加意識は、その他の活動に関わる人たちのモチベーションに大きく影響を与えるので意識・認識の確認は重要といえます。

- (2) グループBの形状は、グループA・グループCの形状のどちらに似ているか。

グループを作るにあたって、グループAとグループCとの中間の立ち位置になるのがグループBになります。レーダーチャートにおいてグループBがグループAに似ている場合、グループA・Bの理解・共有はできていることとなります。また、グループAの回答の分散と、グループBの回答の分散は、グループCの回答の分散に大きな影響を与えます。グループA・Bの回答が分散している時のレーダーチャートはグループB・Cが似た形状になることが多いといえます。グループCの意識・認識の理解は、グループA・Bからの情報の流れによるところが大きいため、グループBの現状を把握することは重要といえます。





## II 診断集計(点数)、回答の分散による設問別分析

### ●グループの作り方

回答者数	10人
------	-----

### ●回答シート記入者数

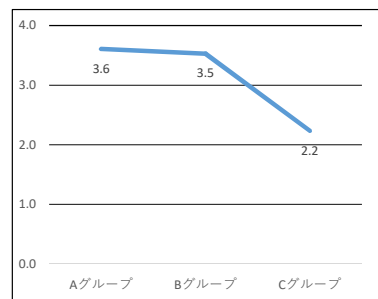
( 10 X17問 = 170 回答)
---------------------

グループの作り方	活動への関わり方(役職など)	
Aグループの基準	代表など活動のコアメンバー	
	記入者数 /	3
Bグループの基準	理事など	
	記入者数 /	2
Cグループの基準	A・Bのグループに属さない人たち	
	記入者数 /	5

### II-1 総計から見た集計結果の詳細

#### ●記入者総数から見た診断集計、回答の分散(回答数、点数計) ●折線グラフ

回答別集計 総計		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	単純集計	点数総計	診断集計値
		回答項目別	回答数 /	単純集計値			回答数		
合計		84	43	10	9	24	170		
3.1 4点満点	グループAの回答	34	15	1	1	0	51		
	グループAの集計(点)	136	45	2	1	0		184	3.6
	グループBの回答	22	9	2	1	0	34		
	グループBの集計(点)	88	27	4	1	0		120	3.5
	グループCの回答	28	19	7	7	24	85		
	グループCの集計(点)	112	57	14	7	0		190	2.2



### ●回答の分布

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	計
総計	49.4%	25.3%	5.9%	5.3%	14.1%	100.0%
Aグループ	66.7%	29.4%	2.0%	2.0%	0.0%	100.0%
Bグループ	64.7%	26.5%	5.9%	2.9%	0.0%	100.0%
Cグループ	32.9%	22.4%	8.2%	8.2%	28.2%	100.0%

#### <診断集計の手順/見本例>

・分析: <1>~<5>までを点数化し、下記の要領で集計値を算出しています。

例 <診断集計値の算出> 【例】回答者: 10名

	<1> はい	<2>	<3>	<4> いいえ	<5> 考えた ことが ない	単純 集計値	診断集計値 (点数)	
	回答項目別回答分布(=人数)					(人数)	(点)	(点/人)
計	3	2	2	1	2	10		
グループ A の回答(人)	1	1	1			3		
グループ A の集計(点)	4	3	2				9	3.0
グループ B の回答(人)	2					2		
グループ B の集計(点)	8						8	4.0
グループ C の回答(人)		1	1	1	2	5		
グループ C の集計(点)		3	2	1	0		6	1.2

・点数は、下記手順で算出しています。

①グループAの集計:  
 $1 \times 4 \text{点} + 1 \times 3 \text{点} + 1 \times 2 \text{点} + 0 \times 1 \text{点} + 0 \times 0 \text{点} = 9$  グループA  $\rightarrow 9/3 = 3.0$

②グループBの集計:  
 $2 \times 4 \text{点} + 0 \times 3 \text{点} + 0 \times 2 \text{点} + 0 \times 1 \text{点} + 0 \times 0 \text{点} = 8$  グループB  $\rightarrow 8/2 = 4.0$

③グループCの集計:  
 $0 \times 4 \text{点} + 1 \times 3 \text{点} + 1 \times 2 \text{点} + 1 \times 1 \text{点} + 2 \times 0 \text{点} = 6$  グループC  $\rightarrow 6/5 = 1.2$

・回答別点数基準 <4点> <3点> <2点> <1点> <0>

設問別診断集計	
2.7	④3グループの平均値: $(3.0+4.0+1.2)/3 = 2.7$
/ 4	※全ての人が、全ての設問に対して<1>を選択した時、診断集計値は、「4」になります。

## II-2 診断集計の点数が高かった設問

※組織として優れているといえるところ

設問		点数	設問の領域
設問6	活動の予算書・決算書は毎年作成している。	3.7	(3) 組織の資源の領域 (4) ガバナンス (記録)の領域
設問3	組織のルール（規約、会則、定款等）は文書になっている。また、活動に関わる人たちも知っている。	3.7	(5) ガバナンス (ルール)の領域
設問14	個人情報、適正に管理（取得目的の明示等）している。	3.7	(5) ガバナンス (ルール)の領域
設問2	組織の活動目的は、社会や地域を何とかしたいという想いや、今までにない新しい取り組みが込められている。	3.6	(1) ミッションの領域
設問5	活動の計画書・報告書は毎年作成している。	3.5	(2) 今の活動の領域 (4) ガバナンス (記録)の領域

## II-3 回答が分かれた設問（回答の分散）

※組織課題がある可能性のあるところ

下表は、回答が分かれた設問の数を表わしています。回答が分かれたということは、意識・認識の共有が低いということになるので確認が求められます

回答が分かれていることが問題点となる場合と、そうでない場合があります。  
設問項目を確認の上、ご活用ください。

回答が分かれた設問の数	回答がいくつに分かれたか					設問計	回答者数	
	なし	2つ	3つ	4つ	5つ			
グループ内での分散	グループA	10	6	1	0	0	17	3人
	グループB	11	6	0	0	0	17	2人
	グループC	0	8	8	1	0	17	5人
全体集計で見た分散	0	4	9	3	1	17	10人	

※詳細は、以下の集計データページをご参照ください。

### <ポイント>

- ①グループ別の集計は、回答者の視点の違いを使って問題点を探そうとするもので、グループ内の分散は直接的に活動に影響するところになります。  
設問の内容を見ながら意見交換の機会を持つことをおすすめします。
- ②全体集計において回答の分散が多く、グループ内の分散が少ない結果であった場合、グループ間の意識の共有が低いことになります。  
団体活動全般においての意識のあり方にも考慮し、①とは別の方法での確認が必要かもしれません。



### Ⅲ 設問別に見た集計結果

【設問 1】 設立時の活動への想い（組織の目的）は文書になっている。

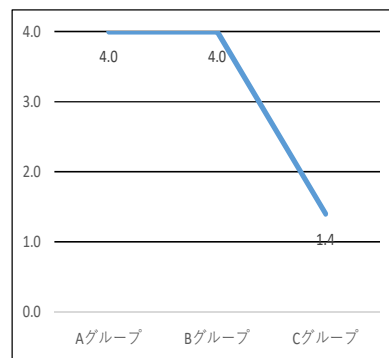
そして、それは一緒に活動している人たちに理解されている。

●診断集計回答の分散

ミッション・ガバナンスの領域

●折線グラフ

設問1		はい	文書になっているが、共有はできていない	文書はないが、理解されている	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計値
		回答項目別	回答数	／			単純集計値		
合計		6	1	0	0	3	10		
3.1 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	1	1	0	0	3	5		
	グループCの集計（点）	4	3	0	0	0		7	1.4



【設問 2】 組織の活動目的は、社会や地域を何とかしたいという想いや、

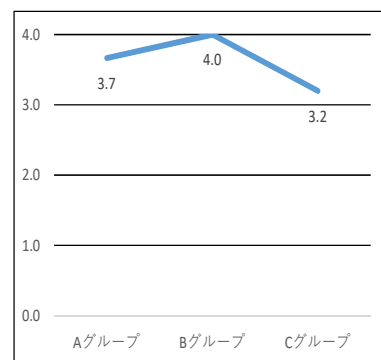
今までにない新しい取り組みが込められている。

●診断集計回答の分散

ミッションの領域

●折線グラフ

設問2		はい	概ね思う	少し思う	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計値
		回答項目別	回答数	／			単純集計値		
合計		6	3	1	0	0	10		
3.6 4点満点	グループAの回答	2	1	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	8	3	0	0	0		11	3.7
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	2	2	1	0	0	5		
	グループCの集計（点）	8	6	2	0	0		16	3.2



【設問 3】 組織のルール（規約、会則、定款等）は文書になっている。

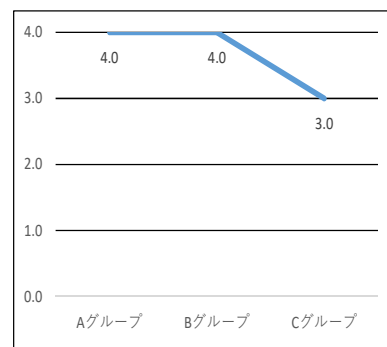
また、活動に関わる人たちも知っている

●診断集計回答の分散

ガバナンスの領域

●折線グラフ

設問3		はい	文書になっているが、知っている人は少ない	文書になっている	ルールはない	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計値
		回答項目別	回答数	／			単純集計値		
合計		8	1	0	0	1	10		
3.7 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	3	1	0	0	1	5		
	グループCの集計（点）	12	3	0	0	0		15	3.0



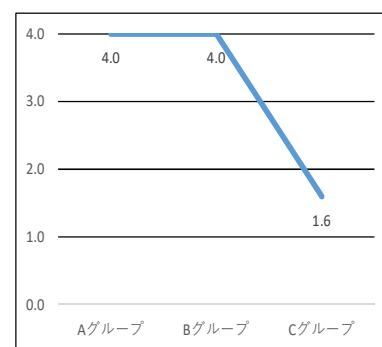
【設問 4】 役員（理事、運営委員、監事）の役割や決め方を決めている。

●診断集計回答の分散

ガバナンスの領域

設問4		はい	役割は決ま まっている が、役員 の決め方に決 まりはない	役割は明確 でないが、 役員 の決め方は決ま っている	いいえ	考えたこ とがない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
	合計	7	0	0	0	3	10		
3.2 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	2	0	0	0	3	5		
	グループCの集計（点）	8	0	0	0	0		8	1.6

●折線グラフ



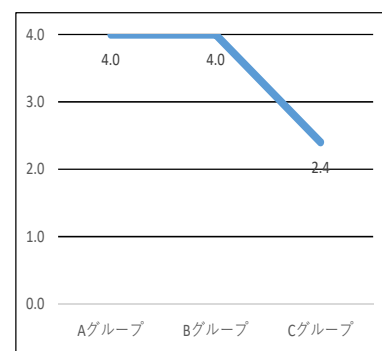
【設問 5】 活動の計画書・報告書は毎年作成している。

●診断集計回答の分散

今の活動・ガバナンスの領域

設問5		はい	報告書は毎 年作成して いる	必要に応じ て作成して いる	いいえ	考えたこ とがない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
	合計	8	0	0	0	2	10		
3.5 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	3	0	0	0	2	5		
	グループCの集計（点）	12	0	0	0	0		12	2.4

●折線グラフ



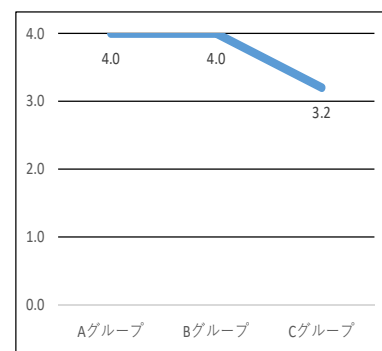
【設問 6】 活動の予算書・決算書は毎年作成している。

●診断集計回答の分散

資源・ガバナンスの領域

設問6		はい	決算書は毎 年作成して いる	必要に応じ て作成して いる	いいえ	考えたこ とがない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
	合計	9	0	0	0	1	10		
3.7 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	4	0	0	0	1	5		
	グループCの集計（点）	16	0	0	0	0		16	3.2

●折線グラフ



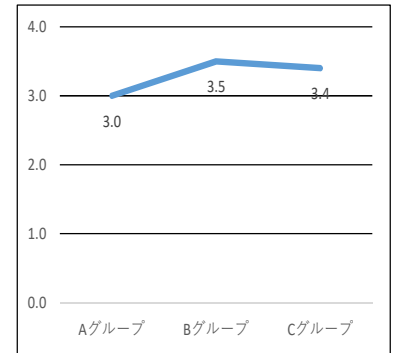
【設問 7】 組織において、新たなボランティア、スタッフなどを受け入れる体制  
 (人材育成担当スタッフの存在や受け入れ説明会の開催など) はできている。

●診断集計回答の分散

資源の領域

●折線グラフ

設問7		はい	体制は不十分だが、受け入れたことはある	体制はあるが、受け入れたことはない	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
合計		3	7	0	0	0	10		
3.3 4点満点	グループAの回答	0	3	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	0	9	0	0	0	9	3.0	
	グループBの回答	1	1	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	4	3	0	0	0	7	3.5	
	グループCの回答	2	3	0	0	0	5		
グループCの集計(点)	8	9	0	0	0	17	3.4		



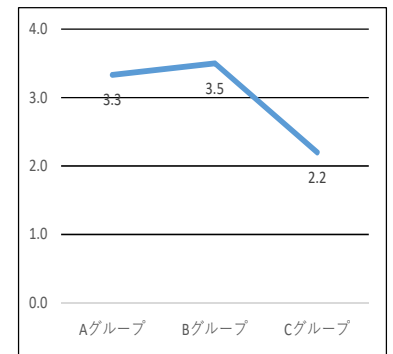
【設問 8】 必要な資金の調達を行う工夫をしている。

●診断集計回答の分散

資源の領域

●折線グラフ

設問8		はい	努力している	あまり注力していない	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
合計		5	2	1	0	2	10		
3.0 4点満点	グループAの回答	2	0	1	0	0	3		
	グループAの集計(点)	8	0	2	0	0	10	3.3	
	グループBの回答	1	1	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	4	3	0	0	0	7	3.5	
	グループCの回答	2	1	0	0	2	5		
グループCの集計(点)	8	3	0	0	0	11	2.2		



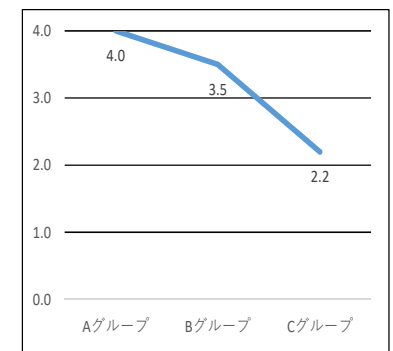
【設問 9】 今の活動は、設立時に立てた何とかしたいという課題の解決に向かっている。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

●折線グラフ

設問9		はい	大体できている	少してきている	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数 総計	診断 集計 値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
合計		6	2	0	0	2	10		
3.2 4点満点	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	12	0	0	0	0	12	4.0	
	グループBの回答	1	1	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	4	3	0	0	0	7	3.5	
	グループCの回答	2	1	0	0	2	5		
グループCの集計(点)	8	3	0	0	0	11	2.2		



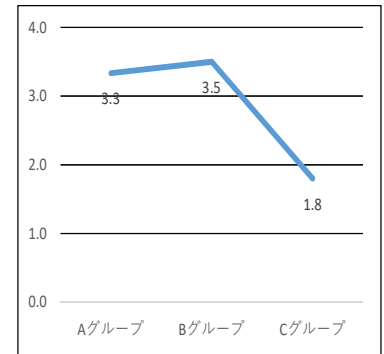
【設問10】 自団体の活動に役立ちそうな社会情勢の変化を追いかけている。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

●折線グラフ

設問10		はい	ときどきしている	あまりして いない	いいえ	考えたこと がない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値	回答数		
	合計	2	6	0	0	2	10		
2.9 4点満点	グループAの回答	1	2	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	4	6	0	0	0	10	3.3	
	グループBの回答	1	1	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	4	3	0	0	0	7	3.5	
	グループCの回答	0	3	0	0	2	5		
	グループCの集計(点)	0	9	0	0	0	9	1.8	



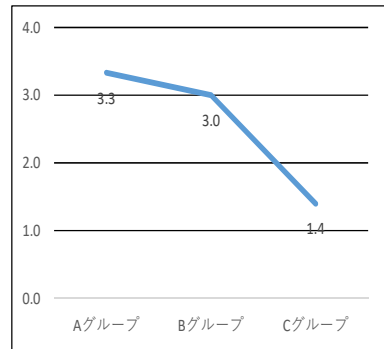
【設問11】 活動に関わる人たちの満足を得るための工夫をしている。

●診断集計回答の分散

資源の領域

●折線グラフ

設問11		はい	努力している	あまり注力 していない	いいえ	考えたこと がない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値	回答数		
	合計	1	4	2	3	0	10		
2.6 4点満点	グループAの回答	1	2	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	4	6	0	0	0	10	3.3	
	グループBの回答	0	2	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	0	6	0	0	0	6	3.0	
	グループCの回答	0	0	2	3	0	5		
	グループCの集計(点)	0	0	4	3	0	7	1.4	



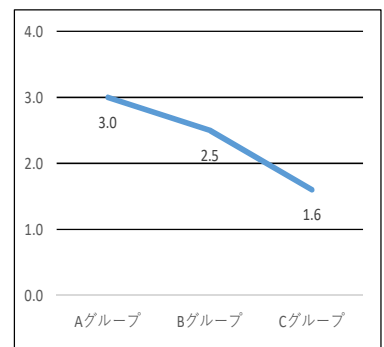
【設問12】 広く社会に向け、働きかけや団体情報等の情報を発信している。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

●折線グラフ

設問12		はい	強化したい と思っている	あまり必要 と思わない	いいえ	考えたこと がない	単純 集計	点 数 総 計	診 断 集 計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値	回答数		
	合計	1	4	2	2	1	10		
2.4 4点満点	グループAの回答	0	3	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	0	9	0	0	0	9	3.0	
	グループBの回答	1	0	0	1	0	2		
	グループBの集計(点)	4	0	0	1	0	5	2.5	
	グループCの回答	0	1	2	1	1	5		
	グループCの集計(点)	0	3	4	1	0	8	1.6	



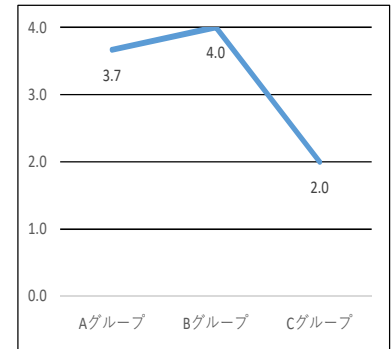
【設問13】 会議（総会、役員会、理事会、運営委員会等）の記録（議事録等）を作成し保管している。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

設問13		はい	保管しているものもある	保管していない	記録はない	考えたことがない	単純集計 回答数	点数 総計	診断集計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値			
合計		5	3	0	0	2	10		
3.2	グループAの回答	2	1	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	8	3	0	0	0		11	3.7
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	1	2	0	0	2	5		
4点満点	グループCの集計（点）	4	6	0	0	0		10	2.0

●折線グラフ



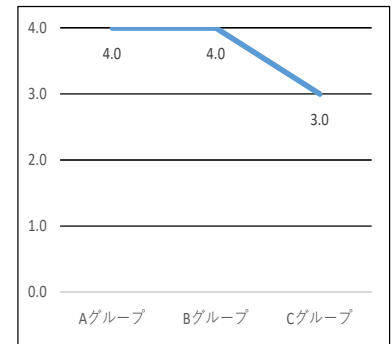
【設問14】 個人情報、適正に管理（取得目的の明示等）している。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

設問14		はい	適正な管理かどうかわからない	個人情報は受け取らないようにしている	いいえ	考えたことがない	単純集計 回答数	点数 総計	診断集計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値			
合計		8	1	0	0	1	10		
3.7	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	2	0	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	8	0	0	0	0		8	4.0
	グループCの回答	3	1	0	0	1	5		
4点満点	グループCの集計（点）	12	3	0	0	0		15	3.0

●折線グラフ



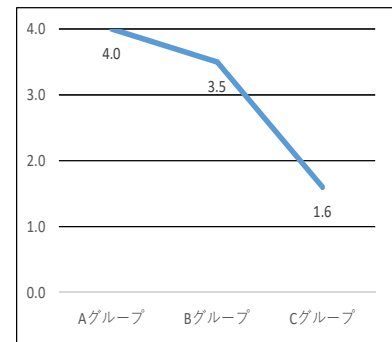
【設問15】 現金・通帳・帳簿類、印鑑などの管理についてのルール（複数人による管理等）は文書になっている。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

設問15		はい	ルールはあるが文書になっていない	必要だと思いが作っていない	会計のルールはない	考えたことがない	単純集計 回答数	点数 総計	診断集計 値
		回答項目別	回答数	／		単純集計値			
合計		6	1	0	0	3	10		
3.0	グループAの回答	3	0	0	0	0	3		
	グループAの集計（点）	12	0	0	0	0		12	4.0
	グループBの回答	1	1	0	0	0	2		
	グループBの集計（点）	4	3	0	0	0		7	3.5
	グループCの回答	2	0	0	0	3	5		
4点満点	グループCの集計（点）	8	0	0	0	0		8	1.6

●折線グラフ



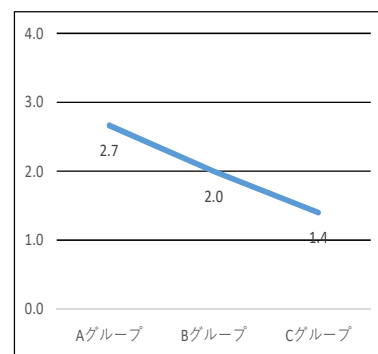
【設問16】 組織の活動規模や予算規模、活動エリアなど、将来に向けた組織のイメージがある。

●診断集計回答の分散

ミッションの領域

●折線グラフ

設問16		はい	イメージがある関係者がいる	イメージがある関係者もいると思う	いいえ	考えたことがない	単純集計	点数総計	診断集計値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
合計		1	1	4	4	0	10		
2.0 4点満点	グループAの回答	1	1	0	1	0	3		
	グループAの集計(点)	4	3	0	1	0	8	2.7	
	グループBの回答	0	0	2	0	0	2		
	グループBの集計(点)	0	0	4	0	0	4	2.0	
	グループCの回答	0	0	2	3	0	5		
	グループCの集計(点)	0	0	4	3	0	7	1.4	



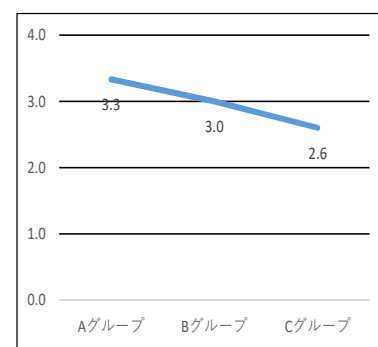
【設問17】 これからの組織をどうしていきたいか、活動している人たちと話し合う機会を持っている。

●診断集計回答の分散

今の活動の領域

●折線グラフ

設問17		定期的に開催している	不定期に開催している	話し合いに参加したことはない	話し合ったことはない	考えたことがない	単純集計	点数総計	診断集計値
		回答項目別	回答数	／	単純集計値	回答数			
合計		2	7	0	0	1	10		
3.0 4点満点	グループAの回答	1	2	0	0	0	3		
	グループAの集計(点)	4	6	0	0	0	10	3.3	
	グループBの回答	0	2	0	0	0	2		
	グループBの集計(点)	0	6	0	0	0	6	3.0	
	グループCの回答	1	3	0	0	1	5		
	グループCの集計(点)	4	9	0	0	0	13	2.6	



## IV 集計結果の読取

### IV-1 設問別の読取結果

- ・「▲」・「△」の読取結果のところの問題点が隠れている可能性が高いです。

設問	内容	マネジメントの領域	点数	読取結果	留意点	回答の分散			
						全体	Aグループ	Bグループ	Cグループ
設問1	設立時の活動への想い（組織の目的）は文書になっている。そして、それは一緒に活動している人たちに理解されている。	(1) ミッションの領域 (5) ガバナンス（ルール）の領域	3.1	○		3つ	1つ	1つ	3つ
設問2	組織の活動目的は、社会や地域を何とかしたいという想いや、今までにない新しい取り組みが込められている。	(1) ミッションの領域	3.6	◎		3つ	2つ	1つ	3つ
設問3	組織のルール（規約、会則、定款等）は文書になっている。また、活動に関わる人たちも知っている。	(5) ガバナンス（ルール）の領域	3.7	◎		3つ	1つ	1つ	3つ
設問4	役員（理事、運営委員、監事）の役割や決め方を決めている。	(5) ガバナンス（ルール）の領域	3.2	○		2つ	1つ	1つ	2つ
設問5	活動の計画書・報告書は毎年作成している。	(2) 今の活動の領域 (4) ガバナンス（記録）の領域	3.5	◎		2つ	1つ	1つ	2つ
設問6	活動の予算書・決算書は毎年作成している。	(3) 組織の資源の領域 (4) ガバナンス（記録）の領域	3.7	◎		2つ	1つ	1つ	2つ
設問7	組織において、新たなボランティア、スタッフなどを受け入れる体制（人材育成担当スタッフの存在や受け入れ説明会の開催など）はできている。	(3) 組織の資源の領域	3.3	○		2つ	1つ	2つ	2つ
設問8	必要な資金の調達を行う工夫をしている。	(3) 組織の資源の領域	3.0	○		4つ	2つ	2つ	3つ
設問9	今の活動は、設立時に立てた何とかしたいという課題の解決に向かっている。	(2) 今の活動の領域	3.2	○		3つ	1つ	2つ	3つ
設問10	自団体の活動に役立ちそうな社会情勢の変化を追いかけている。	(2) 今の活動の領域	2.9	△		3つ	2つ	2つ	2つ
設問11	活動に関わる人たちの満足を得るための工夫をしている。	(3) 組織の資源の領域	2.6	△		4つ	2つ	1つ	2つ
設問12	広く社会に向け、働きかけや団体情報等の情報を発信している。	(2) 今の活動の領域	2.4	▲		5つ	1つ	2つ	4つ
設問13	会議（総会、役員会、理事会、運営委員会等）の記録（議事録等）を作成し保管している。	(4) ガバナンス（記録）の領域	3.2	○		3つ	2つ	1つ	3つ
設問14	個人情報、適正に管理（取得目的の明示等）している。	(5) ガバナンス（ルール）の領域	3.7	◎		3つ	1つ	1つ	3つ
設問15	現金・通帳・帳簿類、印鑑などの管理についてのルール（複数人による管理等）は文書になっている。	(5) ガバナンス（ルール）の領域	3.0	○		3つ	1つ	2つ	2つ
設問16	組織の活動規模や予算規模、活動エリアなど、将来に向けた組織のイメージがある。	(1) ミッションの領域	2.0	▲		4つ	3つ	1つ	2つ
設問17	これからの組織をどうしていきたいか、活動している人たちと話し合う機会を持っている。	(2) 今の活動の領域 (3) 組織の資源の領域	3.0	○		3つ	2つ	1つ	0つ

## IV-2 設問間の関連からの読取結果

●設問項目を関連付けて眺め、その整合性・一貫性について確認しておくのも有効です。

・「C」・「D」の読取結果のところに問題点が隠れている可能性が高いです。

### (1) マネジメントの領域にかかる関連性

関連付けておきたい設問	二つの設問の関連性	読取結果
設問1 ○ と 設問2 ◎ (組織の目的) (組織の想い)	組織の目的・想いが活動に関わる人たちと共有されると、関わる人たちのモチベーションにつながります。	B
設問2 ◎ と 設問9 ○ (組織の想い) (今の活動)	組織の活動の想いは、今の活動に反映されて、初めて実現への方向が定まります。	B
設問9 ○ と 設問16 ▲ (今の活動) (組織の将来イメージの理解)	組織の将来イメージは、今の活動に方向性を与え、活動と成果が結びつくので活動の目的が見えやすくなります。	D
設問16 ▲ と 設問17 ○ (組織の将来イメージの理解) (これからを話し合う機会)	「これからの組織についての話し合い」が「組織の将来イメージ」に結びつくと、活動の方向性が明確になります。	D

### (2) 組織の資源の領域にかかる関連性

関連付けておきたい設問	二つの設問の関連性	読取結果
設問9 ○ と 設問11 △ (今の活動) (満足感への工夫)	活動に関わる人たちの満足感は、今の活動の活力になるので、活動の活性化、方向性をつくります。	C
設問11 △ と 設問17 ○ (満足感への工夫) (これからを話し合う機会)	「これからの組織についての話し合い」は、活動に関わる人たちの満足感・モチベーションにつなげるためといえます。	C

### (3) ガバナンスの領域にかかわる関連性

関連付けておきたい設問	二つの設問の関連性	読取結果
設問3 ◎ と 設問13 ○ (組織のルール) (会議の記録)	組織のルールは、組織決定に至る経緯としての会議記録が求められます。	B
設問3 ◎ と 設問14 ◎ (組織のルール) (個人情報)	組織のルールは、組織の基本的な約束ごと（規約、会則、定款）に従ったものでなくてはなりません。その一例として、個人情報のルールについての関連性をあげています。	A
設問7 ○ と 設問13 ○ (ボランティアなどの受入体制) (会議の記録)	組織の活動と管理体制は、組織決定に至る経緯としての会議記録が求められます。その一例としてボランティア、スタッフなどの受入体制についての関連性をあげています。	B

#### <集計結果の読み取り方法>

◆設問間の読み取り結果は、設問別診断集計（点数）を用い下記の方法で作成しています。

◎	診断集計（点数）が3.5以上の設問
○	診断集計（点数）が3.5未満 2.9以上の設問
△	診断集計（点数）が2.9未満 2.5以上の設問
▲	診断集計（点数）が2.6以下の設問

◆設問間の関連から読み取り結果は、下記方法で作成しています。

A	両方とも「◎」である。
B	2つの回答が「◎」と「○」になっている。
C	どちらかに「△」がある。
D	どちらかに「▲」がある。